

新潟市立〇〇（小・中・中等・高等）学校

第〇学年〇組 〇〇科 学習指導案

令和〇年〇月〇日（曜）第〇校時

（〇：〇〇～〇：〇〇）

指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 単元（題材）名 「〇〇〇〇〇〇」

- ・単元名を記述します。
- ・単元が大きな教科の場合、小単元で記述することも可能です。

2 単元（題材）の目標

- 【知識及び技能】
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】

・児童生徒の実態を踏まえ、学習指導要領に記載されている目標や内容を基に単元で目指す姿を資質・能力ごとに設定します。

3 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
.....
.....
.....

- ・単元の評価規準は、学習を通して身に付けるべき資質・能力を明確にし、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料を参考にしながら、各観点に即して設定します。右の二次元コードからダウンロードできます。
<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
- ・各観点の評価規準の数は、1～2程度に精選しましょう。文末は基本的に「～している」、主体的に学習に取り組む態度は「しようとしている」となります。



4 単元（題材）と指導の構想

(1) 単元（題材）と児童（生徒）

- ・単元に関わって、児童（生徒）がどんな実態であるのか（レディネス）を記述します。単元に関わるこれまでの学習履歴についても記述します。
- ・単元設定の意義と単元のもつ価値を明確にし、授業者がどのような単元観をもっているのかを記述します。
- ・記述に当たっては、児童（生徒）の実態と、単元観を分けて記述しても構いません。

(2) 指導の構想

- ・上記「(1)単元と児童（生徒）」を受け、どのような手立てを講じて学習を進めていくのかを記述します。

5 単元（題材）の指導計画（全○時間）

時	学習のねらい（○）と主な活動内容（・）	評 価			
		知	思	態	評価規準（評価方法）
1	<p><例></p> <p>○（小数）÷（整数）の式の意味を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章題を読む ・課題をつかむ ・自分なりの考えで問題を解く 		○		<p>・規準を満たしている児童（生徒）の様子を具体的に記述します。</p> <p>・どのような方法で見取り、評価するか記述します。</p>
2 本 時	<p>・本時は太枠で囲みます。</p>				

・単元（題材）の目標達成のために学習活動をどのように構成していくのか、追究課題をどのように設定していくのかを検討します。

・単元（題材）全体を通して、各観点のバランスを考慮し、指導に当たることができるようにします。

・評価する時期や場面を精選することが重要です。

6 本時の計画（○時間目／全○時間）

(1) 本時のねらい

<例> ○○について①、△△することを通して②、□□することができる③。

- ・単元（題材）の目標を具体化し、この授業を終えた時に児童（生徒）がどのような姿になることが望ましいのか、どのような力が身に付いていけばよいのかを記述します。
- ◇ 「○○ について①」は、本時の学習内容や学習課題などについて記述します。
- ◇ 「△△ することを通して②」は、目指す姿にするための活動や手立てを記述します。
- ◇ 「□□ できる③」は、本時で目指す児童（生徒）の姿を記述します。

(2) 本時の構想

- ・前時までの既習事項や学習履歴、児童（生徒）の達成状況を記述します。
- ・ねらいの達成に向けて、具体的な手立てや指導上の留意事項を記述します。
- ・児童（生徒）の主体的な学習活動が促されるように工夫する点を記述します。

(3) 本時の展開

学習活動	教師の働き掛けと予想される児童生徒の反応	■評価規準（観点／方法）・○留意点
<p>導入</p> <p>1 ……………。</p> <p>……………。</p> <p>・児童（生徒）が主語になります。問題解決的な学習過程で、どんな活動を行うのかを、「1…する。」のように活動内容に番号を付けて記述します。</p> <p>・各学習活動にかける時間を記述します。</p>	<p>T1……………。</p> <p>・具体的な教師の働き掛けは T1、T2 などと表記します。</p> <p>C1……………。</p> <p>・予想される児童の反応は C1、C2 などと、生徒の反応は S1、S2 などと表記します。</p> <p>・児童（生徒）の反応とともに獲得する学習内容（学習指導要領との関連）を明確に記述します。</p>	<p>○ ……………。</p> <p>……………。</p> <p>・指導上留意する点について記述します。</p>
<p>展開</p> <p>2 ……………。</p> <p>追究に必要な働き掛けを記述します。</p>	<p>・本時のねらいを達成するための学習課題及び主な発問・指示等は太枠で囲みます。</p> <p>T2……………。</p> <p>C2……………。</p>	<p>学習課題及び主な発問や指示等は、「導入」段階に記述する場合があります。</p> <p>○ ……………。</p>
<p>終末</p> <p>3 ……………。</p> <p>……………。</p> <p>児童（生徒）が追究している姿や発言を記述します。</p>	<p>T3……………。</p> <p>C3……………。</p> <p>・学習のまとめを太枠で囲みます。</p> <p>T4……………。</p> <p>C4……………。</p>	<p>■ ……………。</p> <p>……………。</p> <p>・評価規準を書きます。その際、何に基づいて評価するかも記述します。</p>
<p>このときの児童（生徒）は、評価規準が具体化された姿になります。評価規準に基づき、「おおむね満足できる状態（B）」を、児童（生徒）の姿で具体的に記述します。</p>		

(4) 評価 ……………（展開の「■評価（観点／方法）・○留意点」に沿って記述）。

・ねらいを達成した姿を、「おおむね満足できる状態（B）」について具体的な児童（生徒）の姿として記述します。

・何に基づいて評価するかを記述します。評価の観点は括弧内に記述します。

7 参考文献・資料

- ・指導案を作成する際に、参考にした書籍、先行研究、指導案等の出典等を記述します。
- ・児童生徒に配布するプリントやワークシート等は資料として添付します。

板書計画（別紙でも可）

○月○日

学習課題

問題

- ・赤枠（学習課題）青枠（まとめ）など、ひと目で分かるようにします。
- ・学習内容や児童生徒の追究の様子が構造的に整理され、思考の流れがわかるように工夫します。

まとめ

振り返り